

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例038

施設名	新潟市小須戸地区花とみどりのシンボルゾーン		
管理者名	花とみどりのシンボルゾーン管理組合	指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担当課	秋葉区産業振興課		
所在地	新潟市秋葉区小須戸893番地1		
根拠法令			
設置条例	新潟市小須戸地区花とみどりのシンボルゾーン条例		
施設概要	敷地面積 24,004㎡ 構造 鉄筋RC一部2階ほか 延床面積 2,500㎡		
	施設内容 花とみどり館、常設展示場、市民農園、体験農園、ポケ公園 総合交流拠点施設（加工室、研修室、体験加工室、直売室ほか）		

施設設置目的
<p>小須戸地区の特産である花木等の生産振興を図り、併せて本市産業経済の活性化と観光資源の開発を推進するため、新潟市小須戸地区花とみどりのシンボルゾーンを設置する。</p>

管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>基本方針 花とみどりのシンボルゾーン施設が公の施設である事を念頭に置いて公平な運営を行うものとし、利用者の平等な利用を確保しなければならない。</p> <p>1 施設運営に関する業務</p> <p>(1) 主な運営業務</p> <p>①受付 施設利用者への対応及び受付業務 ②利用料金 施設利用料金の徴収業務 ③ホール業務 施設及び備品の日常管理業務</p> <p>(2) その他の運営業務</p> <p>①農産物直売所の開設 ②農産物を利用した新しい特産加工品の開発と販売 ③市民・体験農園での消費者と生産者との交流事業 ④施設を利用した各種教室の開催 ⑤体験農園での農産物体験（生産・管理・収穫）事業 ⑥管理組合主催のイベント事業</p> <p>2 施設管理に関する業務</p> <p>(1) 保守管理</p> <p>①建築設備について、日常点検、定期点検（法的点検含む）を行う ②物品について、施設の運営に支障をきたさないよう、備品や消耗品の適切な保守管理を行う</p> <p>(2) 維持管理</p> <p>①清掃及び衛生害虫駆除について、定期的に清掃及び害虫駆除等を行う ②保安警備業務について、火災、盗難、破壊並びに不法行為等を予防、発見、防止に努める</p> <p>3 その他管理業務</p> <p>(1) 事業計画及び収支予算書の作成 (2) 業務報告書の作成 (3) 指定管理者名の表示 (4) 外構植栽管理 (5) 市事業への協力 (6) 災害発生時の利用者の安全確保 (7) 関係機関との連携・協力</p>

令和4年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準利用者数の達成	利用者年間目標252,617人の70%以上	235,661人	A	目標指標数を大幅に超えている
	イベントへの参加人数	参加者目標140,130人の70%以上	42,077人	C	目標指標数に対し足りなかった
	加工施設の基準稼働率の達成	加工室稼働率70%以上	100%	A	目標指標数を大幅に超えている
	設置目的に合致したサービス提供	設置目的に合致した自主事業を22件以上実施	30件	A	目標指標数を大幅に超えている
財 務	施設の売上額	施設売上目標総額年間133,729千円以上	161,412千円	A	目標指標数を大幅に超えている
	市の歳入増加	施設使用料昨年度実績876千円以上	1,117千円	A	目標指標数を大幅に超えている
業 務	サービスの向上	職員の接客対応研修年2回	2回	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年1回	2回	A	目標指標数を大幅に超えている
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事件・事故発生件数0件	0件	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の6人以上配置	8人	A	目標指標を超え適切な配置が行われている
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・イベントや各種教室等の自主事業は、コロナ禍に比べ徐々に客足が戻り始めているものの、コロナ前にはるかに及ばない。客足は前年比増であるが、イベントや各種教室の平常再開にあわせて、さらに生消交流の場を増加させると共に、イベントや各種教室の活性化させる事業の創設・情報発信を促進させ、参加人数の拡大につなげる。また消費者のニーズを把握する機会を複数得て、集客増につなげていく。

・サービスの向上では、地域における自治体等各種団体との連携を強め、施設利用の拡大を図るようにPR活動を推進させる。そのためには、接客対応について、職員相互の情報交換を図り、消費者により丁寧な情報を発信していく。

・安全責任者の指示により、安全確保の体制を強化して、職員の意識高揚を図ることができた。さらに安全確保を重視して、事件・事故発生の際に努める。事件・事故発生時には、迅速かつ的確な対応を心がける。

・交流拠点施設全般の管理体制を見直し、業務の効率化につなげていく。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

現地調査日: 令和5年7月14日

地域の農業・園芸業・産業と連携し、施設を有効に利用している。コロナウィルスの関係もウイズコロナの方向となり徐々にではあるがイベントの参加人数が増え始めている。また、施設の利用者数や売上、市の歳入ともに増加となっている。運営の方も継続的に加工施設の活用や、自主事業の見直し等を積極的に行っており評価できる。

その他、情報発信については、ホームページや、Facebookの継続的な活用の他、今年度よりInstagramの活用も始めており積極的なPR活動を行っている。それから、コスト意識を持ち、物価高騰の中、節電や経費の節減にも努めており、指定管理者として良好と評価できる。